



まちづくりだより

発行：豊西まちづくりの会

豊西まちづくりの会事務局

[月・水・金 9:00~15:00 開設]

〒515-0505 伊勢市西豊浜町 45-1

TEL/FAX: 0596-63-6780

Eメール: toyonisi@sky.plala.or.jp

URL <http://toyonisi.net/>

明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、まちづくり会の活動を十分行うことが出来ず、皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。そんな中、まちづくり会の活動にご支援、ご協力を賜りありがとうございました。今年もよろしくお願い致します。

令和3年度

総合避難訓練実施される

昨年11月14日(日)豊西まちづくりの会主催の総合避難訓練が実施されました。

地震・津波・宮川の氾濫・その他の災害から身を守るために、避難経路・避難場所・避難にかかる時間の確認をすることが、主な目的です。

一次訓練では自分の身を守る(シェイクアウト訓練)に始まり、非常持出品の準備、安全な場所(避難場所)への避難、避難場所へ着いてからの安否確認、密を避けて一列に並んで検温を受ける、健康チェックシートに記入する、避難者カードへの記入などの訓練が行われました。

二次訓練では紙でコップを作りお茶を飲み、備蓄用食料パンの試食が行われました。避難後のアンケートによりますとほとんどの項目で70%以上の達成率でしたが、一つ非常品持出しの項だけが30%と低い結果でした。

(裏面にアンケート結果掲載)



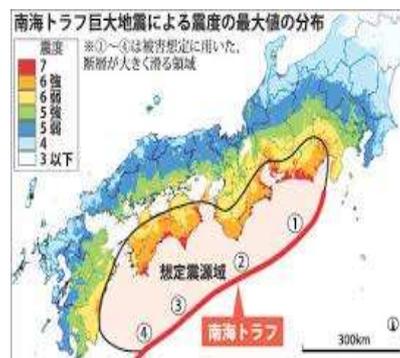
南海トラフ巨大地震について

先日民放テレビで地震についての放送がありました。昨年10月から12月8日までに震度1以上の地震が538回(一昨年同時期244回)発生しているとのこと。10月7日千葉県北部で最大震度5強、12月3日に山梨県富士五湖で震度5弱・和歌山県紀伊水道で震度5弱(三重県でも少し揺れを感じました)、12月9日に鹿児島県石島で震度5強を観測する地震がありました。

地震・火山専門家の鎌田浩毅京大名誉教授によると、10年前の東日本大震災から日本列島は大地変動の時代に突入したとのこと。南海トラフ巨大地震は2030年から2040年の間にほぼ100%の確率で起こるそうです。それを予測できるかもしれないと発言しておられました。それは、スロースリップ現象を観測することによって可能となるそうです。テレビドラマ「日本沈没」にも出てきたスロースリップ現象とは、一般的な地震よりもはるかに遅い速度でプレートが滑る現象です。南海トラフの周りでは、実際ごく数cmの滑りが観測されていますが、ドラマの様に日本列島が沈没するようなことはないそうです。東日本大震災の2か月前にもスロースリップ現象が観測されていたとのことでした。

また、高知の漁師さんが測っていた記録によると、前回1946年南海トラフ地震の時は陸の隆起量が1,12mでそれが元に戻る(0cm)のが、2035年です。戻ったらまた隆起するので、その時地震が起こります。2035年から前後5年の幅を考えると、2030年から2040年の間にほぼ100%の確率で南海トラフ巨大地震が起こることです。マグニチュード9.1 最大震度7 津波の高さ最大で34m(伊勢市の場合は9m)と言われて

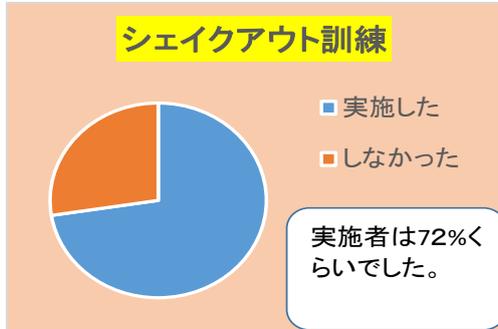
います。また、地殻変動により富士山の噴火も高い確率で起こるとのこと。その被害額は20年間で1410兆円に及ぶそうです。2030年までには、9年の期間があります。その間に地震についての知識を付けること、避難訓練で安全に避難できるようにすること、非常品をしっかりと備えて、いざという時に持って逃げられるようにしておくことなど、自分の命は自分で守る意識を常に持つておくことなどが大切だと思います。



R3総合避難訓練アンケートまとめ

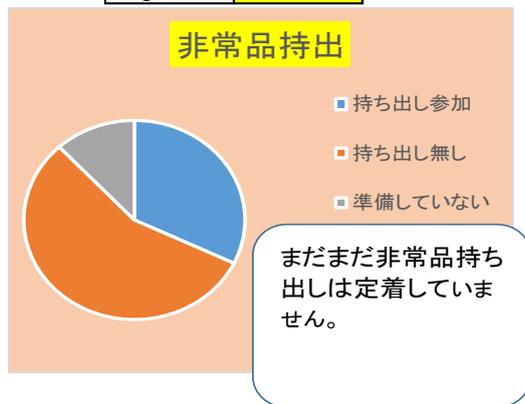
【 シェイクアウト訓練 】

実施した	103
しなかった	39



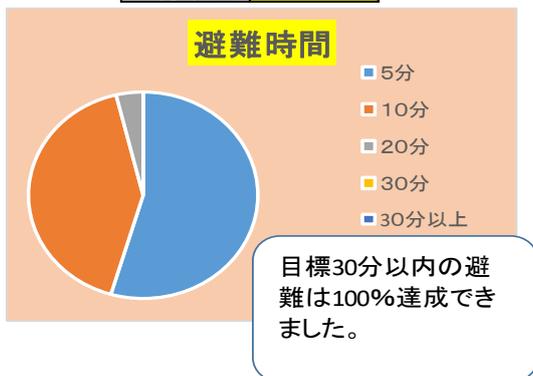
【 非常品持出し 】

持ち出し参加	46
持ち出し無し	80
準備していない	17



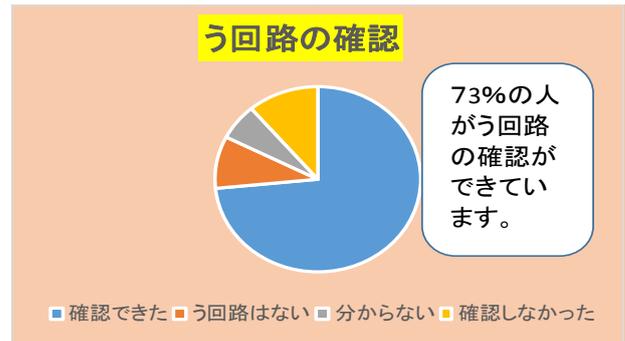
【 避難時間 】

5分	72
10分	55
20分	5
30分	0
30分以上	0



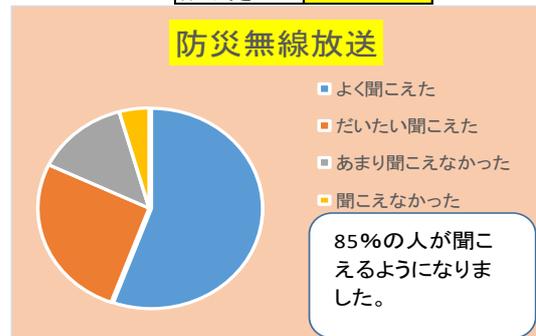
【 う回路の確認 】

確認できた	105
う回路はない	13
分からない	9
確認しなかった	16



【 防災無線放送 】

よく聞こえた	85
だいたい聞こえた	26
あまり聞こえなかった	18
聞こえなかった	2



- ・避難訓練は、大切なことと思う。ありがたいです。
- ・参加してよかったです。ありがとうございます。
- ・もう少し参加者があればと思う。
- ・クイズは意味が無いと思う。問題自体も豊浜地区の防災とは関係ないと思う。
- ・消火器使用の場合3つの急所を説明してから実施しないと何にもならないと思った。
- ・自治会長として事前の会議に何度も出席したにもかかわらずクイズやアンケートの用紙を忘れてしまった。避難訓練そのものよりも、人が安全に助かってもらう訓練の毎年毎年の地道な積み重ねが大切だと思います。
- ・継続して行って下さい。
- ・情報があまりに多くて判断しにくい。とりあえずの事を教えて欲しい。
- ・東日本のような津波が来た時何処へ逃げれば良いのか。この地区には高い所はないのでは？
- ・避難所の耐震は大丈夫なのかと思う。
- ・旧豊中の東門はずっと閉まっているのでしょうか？

